

# 重点改革項目Ⅰ「安心政令市にいがた」の実現に向けた機能強化

大項目	選択と集中による経営資源の適正配分				No.	14	
中項目	外部評価をふまえた事業の見直し、内部事務の効率化・簡素化				担当課	行政経営課	
具体的な改革項目	内部事務の効率化・簡素化						
現状と課題 (これまでの取組)	庶務事務センターなど内部事務の効率化・簡素化に関する検討を行ってきたが、費用面などから実施に至らなかったものもあった。内部事務の範囲は多岐にわたるため、効率化・簡素化の観点で、システム更新時期などの機を捉えた改善が必要なものと全庁的な共通課題で効果が見込まれるものなどを検討していく必要がある。						
改革実施概要	改革の目的、考えられる効果	・新たな行政課題への対応など業務が増える中で、内部事務のさらなる効率化・簡素化を行うことにより、業務のスクラップを推進し、有限である経営資源を創出することができる。					
	取組の内容	・内部事務の効率化・簡素化を見込める内部事務のあり方を検討・実施（改善）					
	取組工程 (具体的な内容)	現状	平成25年度		平成26年度		最終目標／ 27年度以降
			計画	実績	計画	実績	
	・庶務事務センターなど内部事務の効率化・簡素化に関する検討を実施、必要に応じて改善を実施	・内部事務改善実務者会議を新設し、検討	・内部事務改善実務者会議として総務部カイゼングループを新設した。 ・グループの中で内部事務改善について検討し、平成25年度内に5件の改善を実施した。	・内部事務の効率化・簡素化に向けた改善を実施	・昨年度に引き続き、総務部カイゼングループを組織し、改善の検討・実施を行う。 ・庶務事務センターの設置について、先進都市の状況等を把握し、研究を行う。	・内部事務改善実務者会議により、内部事務の効率化・簡素化に向けた改善を継続実施し、業務軽減による経営資源の創出を図る	
指標							

進捗管理	(各年度10月、年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
	取組の状況	上半期 (4～9月)	・内部事務改善実務者会議「総務部カイゼングループ」を新設(5月) ・内部事務の改善について検討を実施	予定通り 進捗	・平成26年度総務部カイゼングループを設置 ・内部事務の改善について検討を実施	予定通り 進捗
		下半期 (10～3月)	・検討に基づき、5件の改善を実施	予定通り 進捗	・検討に基づき、改善を実施 ・庶務事務センターに係る研究を行う	予定通り 進捗

年度評価	(年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
	取組工程、指標に対する評価		計画どおり内部事務改善実務者会議「総務部カイゼングループ」を新設し、検討を行った。また年度内に5件の改善を実施することができた。	A	計画どおり内部事務改善実務者会議「総務部カイゼングループ」を新設し、検討を行った。また庶務事務センターに係る研究を行った。	A
		課題、今後の方針、改善事項など		・平成26年度の検討方法 ・中長期的に検討を行う改善 ・庶務事務システム、庶務事務センターの研究		・中長期的に検討を行う改善 ・庶務事務システム、庶務事務センターの研究 ・会計業務等への展開

計画期間の評価	(平成26年度上半期終了後に実施、下半期終了後に最終確定)		総合評価			平成27年度以降
	取組工程、指標に対する評価		計画どおり内部事務改善実務者会議「総務部カイゼングループ」を新設して検討を行った結果、改善実施につなげることができた。また、庶務事務センターに係る研究も実施した。	A		総務部カイゼングループの取り組みを基に、全庁的な協力を得て更なる内部事務の改善に取り組んでいくとともに、庶務事務システムや庶務事務センターについて研究を進めていく。
		課題、今後の方針、改善事項など		・単年度で完了せず中長期的に検討を行うべき改善については、引き続き継続的に取り組む必要がある。 ・庶務事務システムや庶務事務センターの導入については今後も研究と情報収集が必要である。 ・会計や契約等他の内部事務業務等への展開が課題である。		